

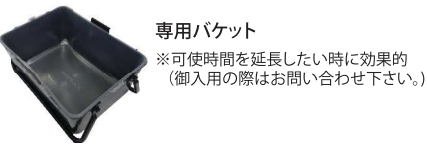
■特性一覧

項目	単位	規格
外観	混合後	液
硬化時間	25℃	時間 24
比重	JIS K 7232	— 1.3 ~ 1.4
圧縮強さ	JIS K 7181	MPa 98 ~ 108
引張強さ	JIS K 7161	MPa 38 ~ 48
引張伸び	JIS K 7161	% 2.5 ~ 3.5
縦弾性係数	JIS K 7161	GPa 1.40
曲げ強さ	JIS K 7171	MPa 49 ~ 59
引張せん断接着強さ	JIS K 6850	MPa 14 ~ 18
硬さ	ショアー D	— 75 ~ 78
収縮率		% 0.20

■性状

色調 (混合後)	混合比 (重量 / 容積)
白色	5 : 1 / 7 : 2

■セット内容 (1kgセット)



超厚膜無溶剤系セラミックエポキシ樹脂塗料

Brushable-S

ブラッシュブル-エス

鋼橋塗装設計施工要領【H29.8 首都高速道路(株) 補修塗装(重防食)SDK-P511相当



Application Management 施工管理

■塗布直後の膜厚と硬化後の膜厚例

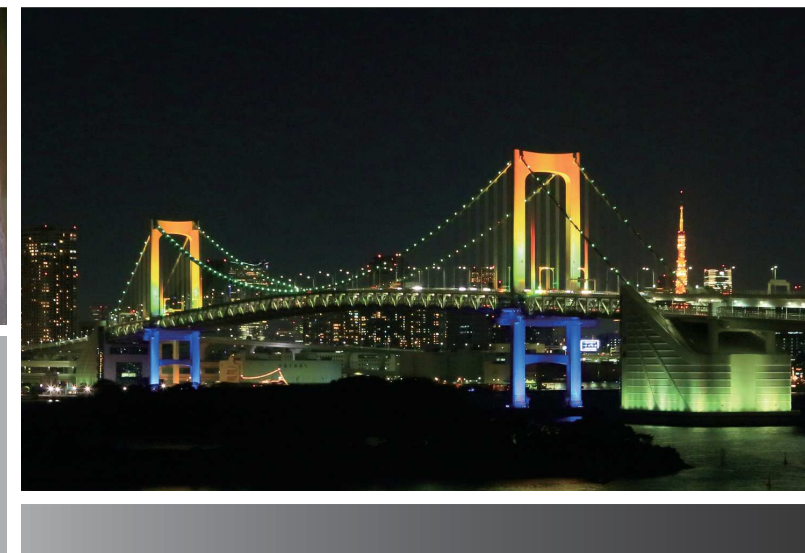
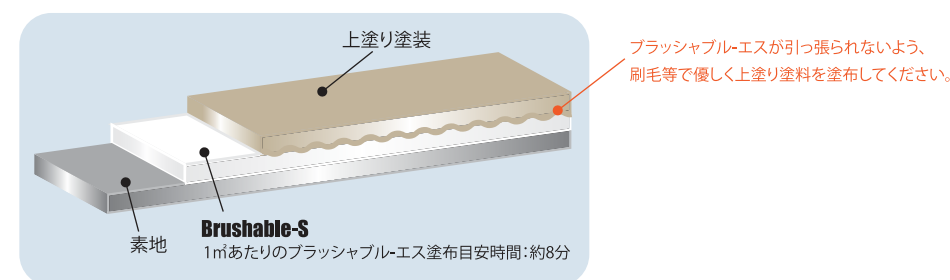
Wet 膜厚 (μm)	300	600	1,100
Dry 膜厚 (μm)	250 ~ 300	520 ~ 600	940 ~ 1,100

■温度と硬化時間の目安

温度	5℃	15℃	25℃	35℃
容器内ゲル化時間※1	<120分	<40分	<20分	<10分
専用バケツゲル化時間※2	<120分	<60分	<30分	<15分
可使用時間※3	120分	75分	50分	30分
塗膜硬化時間	60時間	32時間	24時間	12時間

- ※1 容器内ゲル化時間とは主剤・硬化剤を主剤容器内で混合し、そのまま静置した場合にゲル化が始まる時間
- ※2 専用バケツゲル化時間とは主剤・硬化剤を混合し、専用バケツに移し静置した場合にゲル化が始まる時間
- ※3 可使用時間とは主剤・硬化剤混合後に塗料を使い切り、塗り広げる事が出来る時間

■上塗り即塗り仕様のイメージ



製造・販売元：
株式会社 ITW パフォーマンスポリマーズ&フルイズ ジャパン
〒564-0053 大阪府吹田市市江の木町30-32
TEL.06-6330-7118 (代) FAX.06-6330-7083

共同開発者：
光海陸産業株式会社
〒114-0034 東京都北区上十条2丁目28番2号
TEL 03(3906)1003 FAX 03(3906)6115

www.itwppjapan.com
info@itwppjapan.com
フリーダイヤル ☎ 0120-03-4880
受付時間 9:00~17:30 (土・日・祝祭日を除く)

販売店：

ITW 株式会社 ITW パフォーマンスポリマーズ&フルイズ ジャパン

超厚膜無溶剤系セラミックエポキシ樹脂塗料

Brushable-S

ブラッシュブル-エス



Quality 安心の品質

- ✓ 1工程で立ち面 1,000 μm以上の厚膜塗装が可能 (常温下)
- ✓ 3種ケレンで優れた防食効果・耐久性を発揮
- ✓ 応急対策としての耐久用途から40年の高耐久用途まで対応
- ✓ 促進試験 (複合サイクルD) により品質確認
※JIS K 5600-7-9

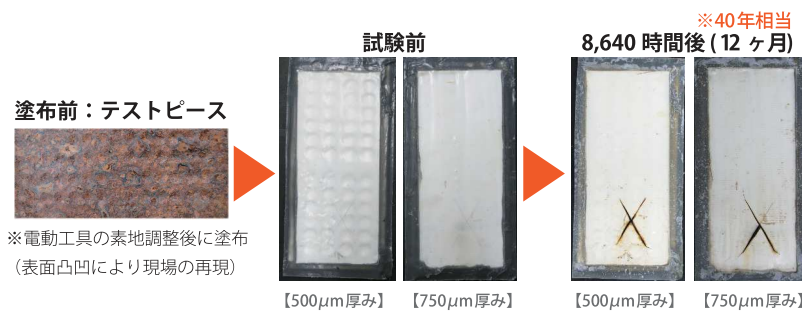
■特長

- ・刷毛塗り可能な低粘度で、1工程で厚塗りが可能
- ・従来ランクの塗装系と比べ同等以上の防食効果
- ・3種ケレンで強固な接着力、優れた機械的性質を発揮
- ・強固な塗膜を形成し、外的損傷を防ぐ(傷が付かない)
- ・無溶剤で引火点が高く安全性が高い
- ・塗膜が割れにくいいため、塗膜片の落下のリスクが低い

■主な用途

- ・鋼桁補修工事等での省工程厚膜塗装の塗替え
- ・既設重防食塗装の塗替え
- ・タンクや水槽、ポンプケーシングの防錆保護

■複合サイクル試験結果



■Brushable-S 検証試験結果

①上塗り可能時間の短縮

防食材料構成	下塗り	Brushable-S
	上塗り	水性ポリウレタン樹脂
塗装間隔	下塗り塗布10分後に上塗り	

耐久評価		複合サイクル試験	促進耐候性試験	
試験期間		4,320h	300h	1,000h
目視	一般部	異常なし	異常なし	
	カット部	異常なし	異常なし	
付着試験(MPa)		7.3	5.8	6.8

②重ね塗り検証

防食材料構成	下塗り	Brushable-S	
	上塗り	水性ポリウレタン樹脂塗料	水性フッ素樹脂塗料
付着試験 (MPa)		15.8	18.5



防食材料構成	下塗り	有機ジンクリッチペイント	ポリウレタン樹脂塗料	フッ素樹脂塗料	溶融亜鉛メッキ
	上塗り	Brushable-S			
付着試験 (MPa)		14.3	15.4	10.0	8.3

Cost コスト削減に貢献

- ✓ 交通規制期間の大幅短縮 例) 5回→1回
- ✓ 作業人数 (人件費) の削減



トータルコストの削減(約70%)

塗装工程の比較

【塗装系(凡例)】

下地素地	工程	塗料名	使用量	回数	塗装方法	塗装間隔
			g/m ²			
3種	下塗第1層	変性エポキシ樹脂塗料下塗	60	1	刷毛	1日~10日
	下塗第2層	変性エポキシ樹脂塗料下塗	60	1		1日~10日
	下塗第3層	超厚膜形エポキシ樹脂塗料下塗	150	1		1日~10日
	下塗第4層	超厚膜形エポキシ樹脂塗料下塗	150	1		1日~10日
	中上兼用	厚膜型ポリウレタン樹脂塗料上塗	230	1		

【上塗溶剤形塗料工法】

下地素地	工程	塗料名	使用量	回数	塗装方法	塗装間隔
			g/m ²			
3種	下塗第1層	Brushable-S	1,000*	1	刷毛	10分
	中上兼用	厚膜型ポリウレタン樹脂塗料上塗	230	1		

※1 m²当たりの塗布可能面積:1 セット(1,000g)=750 μm厚み

【上塗水性形塗料工法】

下地素地	工程	塗料名	使用量	回数	塗装方法	塗装間隔
			g/m ²			
3種	下塗第1層	Brushable-S	1,000*	1	刷毛	10分
	上塗	水性ポリウレタン樹脂塗料 水性フッ素樹脂塗料	140 (120)	1		

※1 m²当たりの塗布可能面積:1 セット(1,000g)=750 μm厚み

★素地調整の品質向上により耐久性向上(プラスト面形成電動工具も推奨)

Safety 高い安全性

- ✓ 無溶剤なので環境・人体に優しい
- ✓ 火災リスクの大幅低減
- ✓ 溶剤形塗料に比べ取り扱い量が大幅増量
- ✓ VOCの大幅削減
- ✓ 鉛やクロムなどの有害重金属を含まない

一般塗料との安全比較

	有機ジンクリッチペイント		Brushable-S	
	主剤	硬化剤	主剤	硬化剤
引火点	23℃	-7℃	204.4℃	93.3℃
発火点	480℃	459℃	無し	無し
臭気	強い	強い	無臭	無臭
消防法	危4類1石	危4類1石	危4類4石	危4類3石 非水溶性液体
※取り扱い量	40L 未満	40L 未満	1,200L 未満	400L 未満

※東京都火災予防条例に準ずる取り扱い量(届出不要)

